

2026 年度天使大学大学院 入学者選抜
【看護栄養学研究科 看護学専攻 博士後期課程】
一般選抜Ⅱ期 英語 出題の意図および解答例

【出題の意図】

看護、保健学分野において WHO (World Health Organization) による最新の情報を得ることは重要である。一般的に英語の原文が発表されてから、和訳されるまでにはタイムラグが生じることから、博士後期課程の学生は最新の情報を英文で適切に読むことができるスキルが求められる。

本試験における問題は、麻疹における世界の動向について、数値を正しく理解し麻疹の現状について適切に英文を読むことができているかを問うための問題である。また、内容を簡単な英語で良いので要約して記述できる能力を問う。

問 1

【解答例】

これは 2000 年以降に記録された年間死亡者数としては最低水準である一方、非常に効果的で低コストのワクチンで予防できる病気による死亡はどれも容認出来ない。

問 2

【解答例】

注目すべきは、アフリカ地域ではこの期間に、予防接種の普及率向上もあり、感染者数が 40%減少し、死亡者数が 50%減少したことである。

問 3

【解答例】

最近の麻疹の急増、栄養状態が良く、医療へのアクセスが良いため、子どもが死亡する可能性が低い国や地域で発生しているが、感染者は依然として、失明、肺炎、脳炎などの生涯にわたる重篤な合併症のリスクがある。

問 4

【解答例】

WHO reported that global measles vaccination has greatly reduced deaths since 2000. However, cases have surged again worldwide, and many deaths, mostly among young children, still occur.